

山形大学

つるおか森の時間を開催

山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター流域保全部門
上名川演習林

平成29年11月5日に上名川演習林にて、地元自治体の鶴岡市と森林文化都市研究会主催のもと、「つるおか森の時間」が開催されました。同イベントは、森林と人間の新しい関係を構築する環境づくりの一環として、地元市民に森で過ごす楽しさを知ってもらい、森林や森林地域についての理解の深化をはかることを目的に毎年開催されているものです。

当日は、地元市民や鶴岡市職員、農学部教職員など総勢40名ほどが参加し、演習林職員による案内のもと、森林散策や焼畑試験地での赤カブの収穫体験、農学部の学部生による研究発表などが行なわれ、参加者は熱心に、そして楽しみながら体験している様子でした。

午後には、収穫した赤カブのサラダや、山形名物の芋煮を囲み、秋の演習林を満喫いたしました。

本演習林では、上記の他にも、地域小学生等を対象とした一般開放行事も継続的に行なっており、今後も積極的に地域とのつながりを深め、地域貢献を推進していきたいと考えております。



(新井大輔)

